



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

震災後の街づくり、放射能対策

市女性連盟主催 第7回 議員との懇談会



10月3日、市女性連盟主催による第7回「議員と語る会」が開かれました。約60名の参加。これまでの6回は「女性議員と語る会」でしたが、今回は初めて男性議員も含めての形で開催され、15名の議員が出席しました。主なテーマは、津波被害後の街づくりや、放射能への不安。参加者からは「津波の情報が聞こえなかった」「任んでいる



冒頭陳謝

東電に対する賠償請求の説明会が、10/7、市役所内で開かれました。冒頭、陳謝する東電側に「謝って済む問題じゃないだろ」と怒りの声飛び交った場面も。個別の相談会は10/17~19、市商工会館で開かれる予定です。



駐車場地下の浄化槽

天心美術館

11/1 再開へ

3月の震災では、県立天心記念五浦美術館も大

きな被害を受けました。現在、11月1日の再開に向け、復旧工事が急ピッチです。党市議団では、10月4日に、渡邊一雄副館長より説明を受け、復旧の様子を視察させていただきました。 「地震当時、30人ほどの来館者がいて、かなり揺れたものの、ロータリーに出てください、事なきを得た。建物裏手からは



われした福田明市議は「復興計画は何よりも被災者の意見を尊重すること。津波対策では安全な避難場所と正確な情報伝達システムによって『いのち

を守る』体制をつくる必要がある」と述べました。また、放射能汚染と学校給食については鈴木康子市議が「現在、河内町の測定器で月2回程度、県内産品食材を検査している。8月25日に7品目、その後5品目検査し、未検出との結果であった。使用食材一覧と検査結果は一応市HPで公表されている」と述べました。

今回初参加した男性議員の多くからも「みなさんの貴重な意見を今後の復興計画や議会活動に生かして生きたい」との発言が相次ぎました。

見た海面は黒くにごっていた」とのお話。幸いにして作品と建物はほとんど無事でした。しかし建物外周が損傷したほか、駐車場地下の浄化槽が液状化による被害で使用不能となり、休憩所を余儀なくされました。視察時点では、浄化槽改修工事の点検中だったほか、散歩道の石畳の修復などがなされています。館内清掃や植栽の整備もすすんでいます。美術館では、年度当初の予定にあつたとおり「没



FUKUSIMAから

「JCO事故を忘れない 9.30 茨城集会」で、元福島県議の伊東達也氏が講演。原発問題の住民運動の先頭にも立って警鐘を鳴らしてきた方です。そして今回は、いわき市で被災した福祉法人の理事として対応に苦慮することにもなった生々しい報告でした。(10/1、東海村)

後70年 木村武山の芸術展」を開催します。期間は、11月1日~12月4日。とくに8日からは門外不出とされる襖絵「孔雀図」(高野山金剛峯寺所蔵)が展示されます。なお、初日から2週間、入場料が無料となります。



流された六角堂の跡

天心邸などは、今回の津波で海岸線にある「六角堂」を流された茨城大学五浦美術研究所を訪ね、管理の方から説明を受けました。現在は、六角堂の土台を取り除いている状態です。4回の海底探索では瓦などが見つかりません。

また、周辺は10m近い津波をかぶり、天心邸は床下浸水、さらに壁に大きな亀裂が入りました。今後、耐震も考慮し補修することです。来年度春には再開予定です。六角堂の修復は明治38年創建当時の再現をめざすとしています。